

認知症予防ゲーム リーダー養成講座



5月16日（日）上牧町保健福祉センターでリーダー養成講座が行われました。講師は京都で活躍されている認知症予防ネット 中村都子副理事長にご教授いただきました。

この取り組みは「誰もがみんな認知症を予防し、共に明るく暮らしていけること」を目的としています。講義はまず、認知症の基礎知識、予防の大切さや予防ゲームの効果について学びました。

その後、認知症予防ゲームを実践しました。全てのゲームに共通する

ことは種々簡単なルールがありその中に脳活性化の働きが潜んでいること。そしてとても楽しめるということです。知らない人ばかりでもすぐに笑いでいっぱいになり、元気が出ていきいきとして誰とでも仲良く話せるようになり、人間関係が温かく社会性が持てるようになっていきます。そのことが認知症予防や認知症からの引き戻しにつながっていくようです。

今後は養成講座を受講したリーダー達が地域でサロンや教室を立ち上げ活動されていくでしょう。



コロナ特例緊急小口資金・総合支援資金の受付期間が延長となりました

社会福祉協議会では新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業等により所得が減少し、生活資金でお悩みの方々を対象とした特例貸付を実施していますが令和3年6月末までとなっていた受付期間が8月31日まで延長となりました。

特例貸付の具体的な内容のお問い合わせや借入のご相談は、社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。

対象者：新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり一時的な生活費が必要な方
貸付上限：20万円以内（緊急小口資金）、45万円から60万円以内（総合支援資金）

氏名（団体）	種別	金額（円）
令和3年1月から3月		
松寿クラブ	一円募金	7,984
友愛会		178
匿名	寄付	500
令和3年4月から5月		
いきいきクラブ	寄付	50,000
田中		50,000
匿名		700

令和2年度共同募金	
氏名（団体）	金額（円）
学校募金（二小、二中）	22,063
自販機	8,820

（令和3年1月～5月）
左記の団体および個人よりご寄附をいただきましたのでご報告いたします。（敬称略、順不同）
ご寄附をいただきありがとうございます。ご報告が遅くなりましたこと、お詫言わせておきます。また、社協だより71号の締め切りの関係でご報告出来ませんでした。令和2年度共同募金の学校募金と自販機募金の結果をあわせてご報告いたします。みなさまコロナ禍で募金活動が難しい中、共同募金運動にご協力いただきありがとうございました。

寄附等のご報告

小地域ネットワーク活動紹介

「滝川台ネットワーク 脳トレ教室」

6月17日（木）9：30より滝川台公民館にて「脳トレ教室」が行われました。

コロナ以前ならその時間は「ふれあいサロン」や「手作り教室」をしているのですが、長らく続くコロナの影響でみんなで集うことを封印されていました。しかし、小地域ネットワーク連絡会定例会での情報交換を行う中で、環境を整え最善の注意を払えば集めるのではないかと前向きに考え、他地域の小ネットの仲間を介し「脳トレ教室」が企画することとなりました。

5月に「認知症予防ゲームリーダー養成講座」（次ページにて紹介）が行われるという情報も入っていましたので、以前から活動をされている方と今回の養成講座卒業生との認知症予防ゲームが始まりました。手遊び・言葉ゲームとリズムやジャンケンゲームなどを行い笑い声が絶えない場となりました。



このゲームにはちょっとしたルールがあり、頭をひねることや楽しくって笑いが絶えないことにより脳が活性化し、認知症予防、認知症の引き戻しが期待されているというものです。

その効果以上に「本日が楽しかった。また集まりたいなあ。」と思える場になったことが何よりの収穫となりました。



ボランティア活動紹介 ボランティア連絡協議会 総会

4月13日（火）2000年会館で総会が開催されました。コロナ禍での総会であったため、消毒、換気。短時間を徹底しての催しとなりました。

以前なら、総会は、各団体より3名ほど参加いただき、ちょっとした交流と研修会をかねて行った来ましたが今年もそういうわけにはいかない形式的なものとなってしまいました。しかし、今年度から新たな地域福祉活動計画に基づき活動することを確認した上で、団体同士の連携や協力体制の強化をしようという話し合いとなりました。

また、今までに経験したことのない状況、環境でどのような活動をしているのか、身体の安全を担保しながら活動を止めない方法は無いのかなど団体同士で意見交換をされ、その中で、せめて県ボランティア連絡協議会や町ボランティア連絡協議会の話し合いの場にZOOM等気軽に情報交換や話し合いが出来る環境整備が必要ではないかという意見も出ました。

コロナ禍でもつながりを大切にしたいという会員のみなさんのボランティア魂を感じる総会となりました。

